

Ⅲ 文化活動の状況

ここでは、市民会館、公民館、図書館及び体育館を除く、社会教育の諸活動を扱いたい。

この分野には、社会教育全般の事務と、文化財関係、青少年問題協議会関係の事務、事業がある。

1 奨励、援助

市民の皆さんの行う社会教育の諸活動に対して、要望に基づいて各種の援助を行なった。

(1) 社会教育関係団体の状況

分類	団体名	責任者	会員数	組織及び活動
少年 団体	ボーイスカウト福生第1団	天田文雄 (本町 2) 51-1571	482	○育成会 団委員会 カブスカウト ボーイスカウト シニアスカウト ○舎営 キャンプ 団運営会議 指導者養成 ○隊活動等
	子ども会		4,700	○校区 支部(28単位)
青年 団体	福生市青年団体連絡協議会	田口正弘 (福生 1352) 51-5132	200	○加盟サークル・つくし・福生吹奏楽愛好会・ ○フォークダンス愛好会 劇団ボッツォ ビショップ すぎな 成人74 SEE(スタディ・イングリッシュ・エキストラ)フォーク愛好会サークルゆうかり ○定例会 宿泊研修会 サークル対抗スポーツ大会 単位サークル発表会等
婦人 団体	福生市婦人会	木村貞子 (熊川 809) 51-3104	282	○本会 — 支部 ○定例会 研修会 講演会 運動会 慰問等
	自主グループ		70	○4グループ 定例的学習活動
成人 団体	福生市文化連盟	森田潤三 (熊川 858)	2,000	○役員会 — 単位サークル(69) ○役員会 文化祭 文化教室 単位サークル活動助成
	福生市文化財調査会	森田潤三 (同上)	20	○福生市文化財に対する基礎研究 ○福生における小名等について
	福生螢保存会	田中達治 (南田園3-13-6)	30	○上水のホタル及びホタル公園のホタルの保護育成
	福生市PTA連合会	原島卓也 (福生 871) 51-4344	5,870	○連合会 — 単位PTA(8) ○ソフトボール大会 ○研修会他

(2) 援助の状況

ア 人的援助

各団体の会議、主催活動に必要な助言、指導、援助等に職員、講師、助言者等の派遣、紹介を行った。年間延回数15回

イ 施設の利用

施設の利用状況は各機関ごとに集計

ウ 事務援助

印刷事務等 文化財関係団体、青少協地区委員会等

エ 補助金

社会教育関係団体のうち連絡協議会的団体に対してのみ 6団体 230万円

ボーイスカウト福生第1団 青年団体連絡協議会 福生市婦人会 福生市文化連盟

福生市体育協会 福生市小・中学校PTA連合会

2 主催事業・活動

(1) 委員会・会議

ア 社会教育委員会

社会教育全般に渉る調査・研究・計画の立案、教育委員会からの諮問に答える答申を教育長を通じて教育委員会に市民の立場から行う諮問機関である。

本年度の委員会の会議の内容はつぎのとおりである。

昭和52年4月21日 午後3時

① 市民会館、公民館の開館について

② わかたけ会館の開館について

4月28日

① 社会教育委員連絡協議会総会(国分寺)

5月31日 午後2時

① 社会教育関係団体に対する補助金の交付について(答申)

② 市民会館完成記念行事について

③ 公民館運営審議会について

8月26日

① 社会教育委員連絡協議会理事会(国分寺)

9月28日 午後2時

- ① 学校体育施設の開放について
- ② 福生市民体育館条例の一部改正について
- ③ 第八回市民総合体育大会について

9月29日

- ① 社会教育委員連絡協議会研修打合せ（武蔵村山市）

10月20日 午後2時

- ① 研修会のテーマについて

10月24日

- ① 社会教育委員第一ブロック研修会（武蔵村山市）

11月28～29日

- ① 社会教育委員視察旅行

昭和53年3月29日 午後2時

- ① 昭和53年度社会教育事業計画について

イ 文化財専門委員会議

市内の文化財の保存及び活用に関して教育委員会の諮問に答え、又は意見を具申する。

昭和52年 4月20日（水） 午後3時から

昭和52年度文化財事業計画について

6月 8日（水） 午後4時から

昭和52年度文化財事業の進捗状況について

長沢遺跡発掘調査について

10月12日（水） 午後4時から

長沢遺跡発掘調査について

昭和52年度文化財事業実施状況について

11月 9日（水） 午後4時から

社寺建築調査（熊川神社調査）の実施について

長沢遺跡発掘調査、遺物整理状況について

12月 5日（月） 午後4時から

社寺建築調査について

真福寺田沢氏の墓について

1月12日（木） 午後3時から

福生市博物館構想案について

昭和53年2月22日(水) 午後3時から

昭和53年度文化財保護事業計画について

福生市博物館構想案について

福教社発第3190号

昭和52年1月12日

福生市文化財専門委員会議

議長 森 田 潤 三 殿

福生市教育委員会

委員長 来住野 元 一

福生市の文化財の指定について(諮問)

福生市文化財保護条例第7条の規定に基づき福生市文化財の指定について、別紙調書を添付し、次のとおり諮問します。

- | | | |
|-----------|----|-----|
| 1. 長塩氏娘の墓 | 一基 | 市史跡 |
| 2. 田沢氏の墓 | 一基 | 市史跡 |
| 3. 石 棒 | 一点 | 市重宝 |

昭和52年2月21日

福生市教育委員会

委員長 来住野 元 一 殿

文化財専門委員会

議長 森 田 潤 三

福生市の文化財指定について（答申）

昭和52年1月12日付け、福教社発第3190号で諮問のあったこのことについて、次のように答申します。

1. 長塩氏の墓 一基 市史跡 福生市熊川716番地
福生院所有
2. 石 棒 一点 市重宝 福生市福生620番地
内田満蔵所有
3. 田沢氏の墓 一基 については、都市計画街路建設にともなう移転終了後とし、現状では文化財指定は保留するものとする。

*** *** *** *** *** ***

ウ 福生市青少年問題協議会

青少年問題協議会は市長の付属機関であり青少年問題に関する総合的施策の樹立について調査審議し、関係行政機関相互の連絡調整を図り、関係行政機関に意見を述べるための組織である。

青少年の非行防止対策で全市的な運動については青少協によって実施した。本年度の協議会の会議内容及び青少年対策事業はつぎのとおりである。

4月19日 幹事会 昭和52年度事業計画について

5月23日 地区委員長会 昭和52年度関係機関の青少年対策事業について

6月21日 地区委員長会 正副会長の決定について

会長 吉川光 副会長 小林三郎 大谷光利
一声運動とモデル地区の設置について(5小南、内出、
熊川住宅)

7月8日 幹事会 昭和52年度関係機関の青少年対策事業と一声運動に
ついて

7月15日 協議会 昭和51年度協議会のまとめと昭和52年度青少年対
策事業計画について

昭和52年度関係機関の青少年対策事業と一声運動に
ついて

7月18日 地区委員長会 一声運動の展開と関係機関の夏季施策について

(一声運動)

- ① 運動の期間 7～8月(夏休み中)
- ② 要項及び手びきの関係者へ配布
- ③ 広報、青少協だより 家庭用チラシ(全戸配布)
- ④ その他PR、広報車によるPR、立看板
- ⑤ 各種会合でのPR活動

8月23日 Aブロック研修会(青少年対策関係者)

青少年対策を進めるための行政の役割と限界(青梅)

10月6日 幹事会 一声運動の反省と不健全図書対策について

10月13日 地区委員長会 "

11月7日 協議会 "

(不健全図書追放運動)

- ① 運動の期間 11月～12月
- ② 要項及び手びきの関係者へ配布
- ③ 広報、青少協だより、家庭用チラシ(全戸配布)

④ その他PR、広報車によるPR、立看板

⑤ 各種会合でのPR活動

⑥ 実態調査の実施（7月全都一斉）

⑦ 設置者、土地貸付者に対する協力のお願い

10月14日 青少年問題講座「子供の非行について考える」全7回 18人参加

11月10日 地区委員長会 不健全図書追放運動の展開について

12月9日 青少年指導者研修会 最近の青少年問題（立川）

1月25日 幹事会 家庭の日について

1月31日 地区委員長会 家庭の日と会則について

2月15日 幹事会 昭和53年度計画について

2月22日 地区委員長会 "

2月24日 協議会 不健全図書追放運動の反省と家庭の日について

昭和53年度事業計画について

3月8日 青少年指導者研修会 地区組織活動について（府中）

3月22日 " （地区委員対象）（市民体育館）

中高校生の非行と親のかかわりについて 38人参加

(2) 文化財保護事業

1. 市内文化財総合調査事業

(1) 民俗調査（生業・諸職・民具）

調査員 川 鍋 幸三郎（1中教諭）

加 藤 策 夫（2小教諭）

常民研究会（木村龍生、塚本利昭、中島信明、桜井清美、田島 潔、
伊藤鉄也、福本和江、小山統治、門 恵美子、福原敏男、藤塚悦司、
萩原紀子）

調査経過

調査対象者

木村和男、野崎 博、野島茂雄、原島新七、古谷政一、田中清松、齊藤
博、佐藤正一、石川篤之、設楽真一、井上誠三、森田芳夫、村野末男、
村野達次、木村サク、細谷勝雄、笹本正夫、清水吉左衛門、山下源太郎、

井上東一、細渕勘次郎、野島治三郎、渡辺継二郎、森田裕夫、古谷格治、田
村富十郎、斉藤菊三、小林良一、石川シカ、野島ハマ、清水平八、細谷ヨシ、
石川ミツ、

調査日程

4月16日、17日、22日、28日、29日

5月3日、15日

7月23日、24日、28日、29日、30日、31日

8月13日、27日、28日

9月4日、7日、23日、24日、25日、27日、29日、30日

10月1日、2日、9日、10日、23日、30日

11月3日、6日、13日、20日、23日

12月4日、7日、11日、18日、23日、26日

1月11日、29日

2月11日、12日

3月4日、5日、12日、20日、26日、27日

(2) 文書調査

調査員 北原 進(立正大教授)

武井達夫、 森谷幹夫、 松尾公就(以上、立正大学生)

立川愛雄(市文化財専門委員)

高崎勇作、 峰岸秀雄、 加藤有孝(以上、福生古文書研究会)

宮田 満(市教委社会教育課)

調査文書

内出英雄家文書(近世、近代)

志茂一町会所有文書(近代)

笹本正夫家文書（近世）

野島政一家文書（近世、近代）

調査日程

9月20日、21日、22日（内出家文書、志茂一町会文書）

(3) 植物調査（草本類予備調査）

調査員 宮岡一雄（明大教授、市文化財専門委員）

調査日程 3月中1日、4月中1日、5月中2日、6月中2日、7月中2日、
8月中1日、9月中2日、10月中1日、11月中2日

(4) 社寺建築調査

熊川神社本殿調査

調査員 渡辺保忠（早大教授）

中川 武（早大講師）

鈴木賢次、白井裕泰（早大大学院生）

調査日 12月18日（日）

(5) 長沢遺跡発掘調査

所在地 福生市大字福生字奈賀1,069番地他

面積 840.110 m^2

遺跡の種類 縄文中期

調査団長 和田 哲（立川女子高校教諭）

調査員 岡 二郎、井口慶久（以上、早大学生）

調査補佐員 稲葉 薫、角張美章、斉藤 順、田中喜久男、村木 功、大野一郎、
杉森俊幸、斉藤康洋、岸野 正、斉藤一彦、小沢弘明、松本禎之、島崎豊
洲、吉野高之、関塚浜次、青柳正男、久保武義、山下正二郎、川鍋幸三郎、
加藤策夫、田之倉武男、久保莊次郎、佐野明彦、安川 仁、紅林推次、清
水厚史

整理補佐員

山下正二郎、川上真紀子、徳長邦彦、中村生子、田口正弘、浜中正子

調査日程

準備 7月18日、19日、20日、21日

発掘調査 7月22日、23日、25日、26日、27日、28日、29日、30

日、8月1日、2日、3日、4日、5日、6日、9日、10日、
11日、12日、13日、15日、16日、20日、21日、22
日、23日、24日、25日、26日、27日、28日、29日、
30日、31日、9月1日、2日、3日、4日、14日、18日、
23日

遺物整理 10月25日、26日、27日、29日、31日、11月1日、
4日、5日、7日、8日、9日、10日、11日、12日、14日、
15日、16日、17日、18日、19日、21日、22日、24
日、25日、26日、27日、28日、29日、30日
12月1日、2日、3日、5日、6日、7日、8日、9日、10日、
12日、13日、14日、15日、16日、17日、19日、20
日、

報告書・図面等の作成 10月以降、53年3月31日まで

2. 報告書等の刊行事業

(1) 「福生市の遺跡」 53年1月5日刊行

昭和51年度実施 市内埋蔵文化財分布調査の結果

調査員 C・T・キーリ (上智大学講師)

(2) 「長沢遺跡発掘調査報告書」 53年3月刊行

昭和52年度実施 長沢遺跡発掘調査の結果

調査団長 和田 哲 (立川女子高校教諭)

3. 文化財の指定

(1) 市史跡 長塩氏の墓 一基

福生市態川716番地 福生院所有

長塩氏は江戸時代の旗本であり、熊川村の地頭である。

墓域は間口3.2メートル、奥行2.5メートルである。

墓域の中央北側に高さ1.03メートルの五輪塔が一基南面して存する。

(2) 市重宝 石 棒 一点

福生市福生620番地 内田満蔵所有

磨製石器、断面は長円形の棒状で一端がこぶし状に膨隆し、一端は細くすぼんだ単頭式石棒である。

長さ105センチメートル、最大径13センチメートル

膨隆部最大径11.5センチメートル

昭和52年5月10日指定

4. 文化財の収集

寄贈資料

寄贈者及び資料

木村和男(養蚕用具他民具)
原島新七(牛車他民具)
鈴木一光(イナイ竜化石複製品)
佐藤正一(踏鞴他民具)
古谷正一(ザル他民具)
村野隆良(石棒)
後藤福造(新聞(明治37年))
峰岸秀雄(地図複製品)
竹島正一(新聞(大正12年))
田中達治(農具)
渡辺継治郎(農具・民具)
大網学(縄文式土器片)
古谷格治(民具)
細淵勘次郎(民具)

5. 文化財説明看板の設置

埋蔵文化財包蔵地、長沢遺跡説明看板の設置

昭和53年3月

6. 奨励援助

福生市文化財調査会への市内文化財調査の委託

ホテル保存会への養殖保存の委託

福生古文書研究会への印刷援助

7. 福生市博物館構想案の策定

昭和52年10月

8. 文化財資料収集調査整理要項(帳票等の様式、システム)の作成

9. 文化財保護思想普及啓蒙事業、開催状況

婦人の歴史教室

月日	1 9/26	2 10/3	3 10/24	4 11/14	5 11/21	6 12/5	7 1/30	8 2/13	9 2/27	10 3/13	11 3/27	計
参加者数	16	17	14	21	19	15	11	10	17	11	9	全11回 160人

民俗学教室

月日	1 5/27	2 6/3	3 6/10	4 6/17	5 6/27	6 7/1	7 7/8					計
参加者数	24	23	18	16	17	17	11					全7回 126人

子供の考古学教室

月日	1 5/7	2 5/14	3 5/22	4 5/28	5 6/4	6 6/11	7 6/18	8 6/25	9 7/2	10 7/9		計
参加者数	32	28	21	25	23	25	中止	中止	23	26		全8回 203人

古文書講座

月日	1 6/8	2 6/22	3 7/13	4 7/27	5 8/10	6 8/24	7 9/21	8 9/28	9 10/19	10 10/26	11 11/9	12 11/30	13 12/14	14 12/21	15 1/18		計
参加者数	24	22	15	15	15	15	15	13	15	17	15	14	17	13	10		全20回 288人

市内の史跡めぐり

6月12日(日) 参加者数 24人

総合計

全開催回数 47回

全参加者総数 801人

(1) 古 文 書 講 座

この講座は、自分の住んでいる土地の歴史を自分で調査研究するための一助となるように開催するものです。

期 間 6月8日より3月29日まで 全20回

午後7時20分から9時20分まで

会 場 公 民 館

講 師 北 原 進 立正大学教授

学習方法 1 この講座は、ゼミナール方式をとります。
2 第2水曜日は講師による講義を主体として、地方史研究における古文書の利用（活用）方法を学習します。
3 第4水曜日は市内の古文書を使用し、読解を主体とします。

参考図書 「地方史研究必携」 地方史研究協議会 岩波書店

「近世地方史研究入門」 " "

「近世郷土史研究法」 朝倉書店

「幕末郷土史研究法」 "

「近世古文書演習」 柏 書 房

1 古文書入門 6月8日

古文書の定義とその様式

村の概観（概要）をつかむには 村明細帳について

2 地方文書読解 1 6月22日

市内に残る後北条氏制札、太田南畝の書の読解

3 古文書演習 1 7月13日

村役人史料について

4 地方文書読解 2 7月27日

清戸三番衆状の読解

福生村明細帳（享保19年）の読解

5 古文書演習 2 8月10日

農民 — 耕地と家 —

検地帳・名寄帳・宗門人別帳

- 6 地方文書読解 3 8月24日
福生村明細帳(享保19年)の読解
- 7 古文書演習 3 9月21日
文書から知られる事実
— その文書がどのような史料となりうるか —
- 8 地方文書読解 4 9月28日
福生村明細帳(享保19年)の読解
- 9 地方文書読解 5 10月19日
福生村明細帳(享保19年)の読解
- 10 地方文書読解 6 10月26日
福生村明細帳(寛政11年)の読解
- 11 古文書演習 4 11月9日
年貢割付状について
- 12 地方文書読解 7 11月30日
福生村明細帳(寛政11年)の読解
- 13 古文書演習 5 12月14日
福生村明細帳(享保19年)の解釈
- 14 地方文書読解 8 12月21日
福生村明細帳(寛政11年)の読解
- 15 古文書演習 6 1月18日
福生村明細帳(享保19年)の解釈
- 16 地方文書読解 9 1月25日
熊川村宗門人別書上帳(安政5年)の読解
- 17 地方文書読解 10 2月8日
熊川村宗門人別書上帳(安政5年)の読解
- 18 古文書演習 7 2月22日
福生村明細帳(寛政11年)の解釈
- 19 古文書演習 8 3月8日
熊川村宗門人別書上帳(安政5年)の解釈
- 20 地方文書読解 11 3月22日

金子借用証文、他の読解

(2) 民 俗 学 教 室

民間信仰は、自然崇拜、精霊崇拜、シャーマニズムなどが渾然一体化した民俗宗教の諸現象を包括する術語である。ここには伝統的な民衆の宗教感情が集約して表現されており、民衆意識や民衆思想を説明する場合の大きな手がかりとなるものである。

柳田国男の指摘した祖霊信仰は「常民」(村の中にあって約七割方を占める人口)の信仰体系の中核に位置するものといえる。祖霊信仰が日常的信仰の象徴にあるとすると、祖霊から変化した氏神を祭祀する氏子集団や、村の鎮守神や産土神とその祭りのあり方が大きな課題となってくる。この氏神を中心とするカミ体系は、日常性を維持する作用をなすものであり、村の伝統的民俗信仰の中心をなしてきた。

民衆意識とか民衆思想が民衆の生活史と不可分に結びついていることはいうまでもない。重視されるべきは民衆の日常生活、日常性という側面である。民衆の日常性という文化概念に相当するものは「常民」の思想と行動であるといって過言ではない。この日常性はハレとケという二つの要素より構成される。

(岩波講座『日本歴史』13 「農村の復興運動と民衆宗教の展開」宮田 登)

1 期 間 5月27日(金)から毎週金曜日 午後7時30分～9時30分

全7回 7月8日(金)まで

2 会 場 福生市福祉会館 視聴覚室

" 公民館 (第2回以後)

3 連絡先 福生市教育委員会社会教育課社会教育係

TEL (52) 5511

プ ロ グ ラ ム

5月27日(金) 民俗学入門

講師 坪井洋文 国学院大学教授

6月3日(金) 民俗学よりみた日本人の生活文化

講師 坪井洋文 国学院大学教授

6月10日(金) 村と信仰

講師 河上一雄 都立富士高校教諭

6月17日(金) 村と信仰

講師 河上一雄 都立富士高校教諭

6月24日(金) 村と信仰

講師 河上一雄 都立富士高校教諭

7月1日(金) 福生における屋敷神信仰

講師 秋山節子 青梅市立第1小学校教諭

7月8日(金) 福生の年中行事と生業としての農業

講師 川鍋幸三郎 福生市立第1中学校教諭

(3) 婦、人の歴史教室

日々、急激に都市化が進行する中で、生活の便利さは増進したように思われますが、そこに培かれた風土、伝統は破壊されつつあるように見えます。しかし、一方茶道に代表されるような伝統文化の見直し。昔話、民話の採集等にあらわされる伝統文化の保存の必要性も声を大にして叫ばれています。

私達の郷土、地域の風土、歴史を認識するにあたって、広く日本の歴史、風土、文化を考え、正しく把握する必要があります。

期 間 9月26日より3月27日まで 全11回

会 場 公民館

講 師 宇田川 武 久 国学院大学講師

1 歴史とは何か 9月26日(月) 午前10時～正午

(1) 歴史のみかたについて

(2) 歴史的な出来事とは

(3) 歴史研究の方法

(4) 史料の分類

- 2 歴史と文学 10月3日(月)
- (1) 歴史の真相
- (2) 歴史小説と史実
- (3) 歴史と文学
- 3 承平天慶の乱について 10月24日(月)
- 律令体制と地方の様相
- 4 保元平治の乱について 11月14日(月)
- 貴族の没落と武士の登場
- 5 承久の乱について 11月21日(月)
- 武家政治の展開と政治思想
- 6 建武の新政について 12月5日(月)
- 天皇政治の復活と崩壊
- 7 倭寇について 1月30日(月)
- 日明貿易と海賊
- 8 織田信長について 2月13日(月)
- 戦国大名と天下統一
- 9 豊臣秀吉について 2月27日(月)
- 天下統一事業と秀吉の人間性
- 10 宮本武蔵と剣豪について 3月13日(月)
- 剣客とその社会の様相
- 11 多摩の城跡について 3月27日(月)
- 後北条氏時代の多摩地域

(4) 市内史跡めぐり

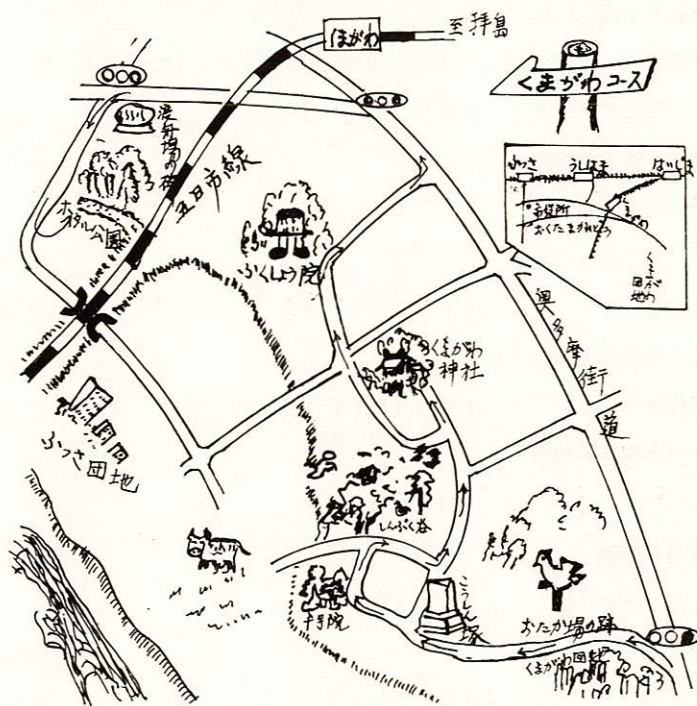
日時 昭和52年6月12日(日)

午前9時～正午

説明者 森田潤三(市文化財専門委員)

立 川 愛 雄 (市文化財専門委員)

コ ー ス 市民体育館 — 牛浜渡舟場址 — ホタル公園 — 福生院 — 熊川神社
 — 千手院 — 鷹場塚



(5) 子 ども 考 古 学 教 室

多摩川にそった段丘の上に、古代の人々は生活し、川と山にえものをもとめて生活していた跡がそこには残されています。

原始の人々の生活の知恵はどんなものであったでしょうか。

期 間 5月7日(土)から毎週土曜日 全10回

7月9日(土)まで

午後1時30分から3時まで

会 場 福祉会館 視聴覚室他

先 生 橋 口 尚 武 都立秋川高校教諭

C・T・キーリ 上智大学講師

塩 野 半十郎 考古学者

れんらく先 市民体育館内 社会教育課社会教育係

でんわ 52-5511

プログラム

- 1 考古学って何だろう 5月7日(土) 午後1時30分から
考古学の範囲、出土品のはなし、人類の起源について
映画「歴史を掘る市民たち」 講師 橋 口 尚 武
- 2 古代人の暮らし 5月14日(土)
遺物・遺構・遺跡のはなし、先土器時代から弥生時代までの流れ、古代人の生活について
映画「遺跡発掘」 講師 橋 口 尚 武
- 3 遺跡発掘調査の見学 5月22日(日)
東久留米市新山遺跡発掘調査の見学
縄文時代住居址と弥生・古墳時代住居址の特徴及び比較、柄鏡型住居址の見学
講師 橋 口 尚 武
- 4 古代の福生 5月28日(土)
福生市内の段丘について、住居地の立地条件について
市内の遺跡の見学と表面採集
映画「多摩の古代遺跡」 講師 橋 口 尚 武
- 5 武蔵野郷土館の見学 6月4日(土)
館内の考古学遺物展示の見学、各時代復元住居址の見学
講師 C・T・キーリ
- 6 縄文式土器について 6月11日(土)
土器はどうやって作られたか、土器の型式・文様について
映画「長沢遺跡発掘調査8mmフィルム」
講師 塩 野 半十郎
- 7 塩野コレクションの見学 6月18日(土)
雨天により中止
- 8 羽村町山根・坂上遺跡発掘調査の見学 6月25日(土)

雨天により中止

9 八王子郷土資料館の見学 7月2日(土)

考古展示の見学

10 秋川市前田耕地発掘調査の見学 7月9日(土)

遺物整理作業の見学

映画「前田耕地遺跡発掘調査8mmフィルム」